

関連製品 「ルシェロペースト マスデント®」と併用して、効果的に歯周病予防!

「歯周病の方のための専用歯ブラシ」

ruscello
the toothbrush on P4 concept



P-10 M/S

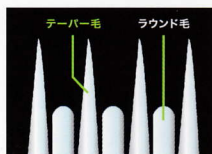
OP-10

ルシェロ歯ブラシ P-10M ルシェロ歯ブラシ P-10S

テーパー毛を採用した「ルシェロ歯ブラシP-10 M/S」は、歯周病の方のために特別に設計した歯ブラシです。

歯周病の症状にあわせて「M」と「S」の2種類をご用意しました。

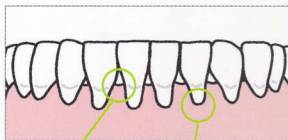
- ハンドル色調: ブルー、グリーン、イエロー、ピンク、ホワイト
- ラバー色調: ネイビー
- 希望患者価格: 1本=¥340(税込)



毛先拡大図

P-10M ●「歯周病予備軍」「歯肉炎」「初期歯周炎」の方に

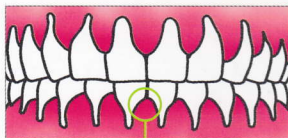
「ルシェロP-10M」は「歯と歯の間」や「歯と歯茎の境」、「ポケット内部」など、プラークが残りやすい場所へ毛先が効率的に入り込めるよう、毛の先端が細くなったテーパー毛を採用しています。「軽度の歯周炎の方」や「歯周病を予防したい方(予備軍)」にとって最適な歯ブラシです。



歯と歯の間 歯と歯茎の境

P-10S ●歯肉の痛みが強い「中等度～重度の歯周炎」の方に

歯周病の悪化により歯茎が腫れあがってしまうと、普通の歯ブラシでは毛先が触れるだけで痛くて磨けないため、さらに悪化するという悪循環に。「ルシェロP-10S」は新開発の極端テーパー毛を採用した、歯周病で痛む歯茎でも磨ける歯ブラシです。



腫れて痛みや出血のある歯茎

ルシェロ歯ブラシ OP-10

重度の歯周炎/外科処置後の方に

「ルシェロ歯ブラシOP-10」は、痛みが強く、ブラッシングを行うことが難しいケースでの使用を考慮した植毛「ドーム状カット」を採用。「重度の歯周炎の方」や「外科処置後の方」などに最適な設計をした歯ブラシです。

- ハンドル色調: ホワイト ●ラバー色調: オフホワイト ●希望患者価格: 1本=¥340(税込)

※掲載の希望患者価格は2010年7月現在のものです。※製品の使用・外観は予告なく変更になる場合があります。

詳しくは当医院の歯科医院・歯科衛生士にご相談ください

お客様窓口 ☎0120-179418

受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祭日を除く)

株式会社 ジーシー

PA042X1007

./G./

ペリオ

歯を失う主原因である「歯周病」を
予防する薬用歯みがき



ruscello paste
MASDENT®

ルシェロペースト マスデント®
薬用歯みがき

ruscello paste
MASDENT®

歯周炎
(歯槽膿漏)の予防

歯肉炎の予防

口臭の予防

- 合成甘味料、発泡剤、防腐剤などを使用していない自然派歯みがき剤
- 歯肉をしっかり磨ける低発泡性



薬用歯みがき

ルシェロペーストマステント® 医薬部外品

[販売名] マステント®

成分●清浄剤○炭酸カルシウム/湿潤剤○濃グリセリン、ソルビット液/粘結剤○キサンタンガム/薬用成分○グリチルリチン酸ジカリウム/香味剤○香料/着色剤○酸化チタン、グンジョウ
効果・効能●歯周炎(歯槽膿漏)の予防/歯肉炎の予防/口臭の予防/むし歯を防ぐ/歯を白くする/口中を浄化する/口中を爽快にする

内容量●60g 希望患者価格●1本=1,600円(税込)

発売元 株式会社 ローシー 設計 ゼリア新薬工業株式会社 製造販売元 エスケー石鹸株式会社
東京都板橋区蓮沼町76番1号 東京都中央区日本橋小町10-11 埼玉県川口市鎮家5-9-9

*マステント® MASDENT® は、ゼリア新薬工業株式会社の登録商標です。

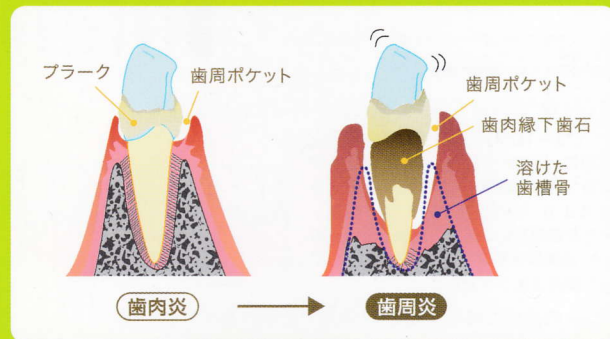


ルシェロペースト マステント®で、 歯周病予防。

大切な自分の歯を守るためには、自覚しにくい「歯周病」という病気をよく理解し、日々意識的に予防をおこなうことが大切です。そのような時、一般的な歯磨剤と同じように使用できる「ルシェロペースト マステント®」がより効果的です。

歯周病(歯肉炎、歯周炎)とは？

「歯周病」とは、歯を支える組織に炎症が起きる病気です。「歯周病」は歯肉炎と歯周炎の2つに分けることができます。



歯肉炎

プラークが歯の周りに付着することで歯肉に炎症が起こり、歯周ポケットが作られます。炎症の原因であるプラークが除去されると改善します。

歯周炎

歯肉炎が進行すると、歯を支えている骨(歯槽骨)にまで影響が及びます。歯茎から出血や膿が出たり、口臭も強くなります。歯槽骨が溶かされてしまい歯がグラグラして、最終的には歯が抜けてしまいます。

歯を失う主原因は「ペリオ(歯周病)」

「むし歯」に比べると「歯周病」の進行は、あまり痛みを感じることはないため自覚症状が少ない病気ですが、実は歯を失う原因で最も多い原因は「むし歯」ではなく、「歯周病」[※]なのです。

平成17年の永久歯の抜歯原因調査報告書によると、「歯周病」によって歯を失う方は35歳から増加し、45歳以降では「むし歯」を抜いて歯を失う主原因のトップになるというデータが報告されています。[※]平成17年 永久歯の抜歯原因調査報告書「抜歯主原因の割合(年齢階級別、%)」財団法人BO20推進財団